

保健体育科学習指導案 修正版

1. 小単元名 「保健・医療機関と医薬品の有効利用」

2. 本時のねらい

・医薬品には、主作用と副作用があり、使用回数、使用時間、使用量など、医薬品ごとに定められた使用方法があり正しく使用する必要があることがわかる。

※「健康を保持増進し病気の予防をするためには、保健所や保健センター、医療機関などを必要に応じて適切に利用することが大切であることがわかる。」については、次の時間の「共に健康に生きる社会」のところで押さえる。

3. 本時の評価規準

・医薬品の正しい使い方について理解することができる。

時間	学習内容・学習活動	教師の指導・評価	資料
導入 7分	<p>1. 本時の課題をつかむ。</p> <p>○体の調子が悪いとき、どうやったら治った経験がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく寝た。</li> <li>・栄養のあるものを食べた。</li> <li>・薬を飲んで寝た。</li> <li>・病院に行った。(注射や点滴をしてもらった。薬をもらった。)</li> </ul> <p>○治療をしなくても治ったのはなぜだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の体は、ある程度のけがや病気なら、自然に治すことができるようになっている。</li> </ul>	<p>T1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然治癒力と薬などの力によるものに分けて板書する。</li> <li>・病気やけがを自分で乗り切るために、本来人間がもっている力を「自然治癒力」と言い、病気やけがから回復するときに働くことを説明する。</li> <li>・「自然治癒力」はあるが、強い病原体が入ったときや病気がこれ以上悪くなるのをおさえるためには「薬」の力が必要であることから、「薬」は「自然治癒力」を助け、病気やけがが早く治るようにしたり、重くならないようにしたりしてくれるものであることを確認する。</li> </ul>	
展開 35分	<p>2. めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>医薬品を使うとき、気をつけることは何だろう。</p> </div> <p>3. 薬の外箱から、使用するとき気をつけることを見つける。</p> <p>○薬の外箱には、どんなこと(項目と用法・用量の内容のみ)が書かれ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布する。</li> <li>・薬の外箱を机に出させる。もしくは配布する。</li> <li>・ワークシートには、あらかじめ「用法・用量」を例示しておき、どのように記入するとよいかわかるようにしておく。また、「用法・用量」のみ、具体的な記載内容を記入できるわくを作っておく。</li> <li>・薬の外箱には様々な情報が書かれていることに気づかせる。</li> <li>・何人か指名して発表させることで、薬によって用法が違うことに気づかせ、なぜ違うのか興味関心を引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・薬の外箱</li> </ul> <p>※各自1つあたるとように準備する。</p> <p>★インターネットで「くすりの適正使用協議会」と検索すると使用できる資料があります。</p> <p style="text-align: center;">↓↓↓</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートへ記入する。(5分)</li> <li>○書かれていたことを発表しよう。(5分)</li> <li>(・用法・用量) ・成分 ・効能、効果 ・用量 ・使用上の注意</li> <li>○みなさんの外箱の「用法」には、何と書かれていましたか。</li> <li>・ぼくには、1日3回食後って書いてある。</li> <li>・わたしには、1日2回食後って書いてある。</li> </ul>		
	<p>○なぜ、このようなことが決められているのか、学校薬剤師の○○先生から説明をしていただきます。</p> <p>4. 学校薬剤師の話 (25分)</p> <p>※学校薬剤師の先生にお願いできないときは、養護教諭の先生等に相談をして手伝っていただくとよい。教科担任が一人で実施することも可。</p>	<p>T2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外箱よりも説明書にはさらに詳しい内容が記載されていることを確認する。</li> <li>・血中濃度の表を見せ、薬の効き目は「体の中の薬の量(血中濃度)」で決まること、「薬の効き目が現れる範囲」を保つために、使用回数や使用時間、使用量が決められていることを話す。その中で主作用と副作用についておさえていく。</li> <li>・○×クイズを5問行い、他にも気をつけるべきことを話す。(教科書 P103)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明書</li> <li>・薬の運び方</li> <li>・薬の血中濃度</li> <li>・プレゼン使用</li> <li>・50インチテレビを使った資料提示と○×クイズ</li> </ul>
<p>終末 8分</p>	<p>5. 本時の学習を振り返り、わかったことをワークシートにまとめる。</p> <p>○ワークシートに振り返りを書きましょう。</p> <p>○書いたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「今まで薬を使うときにあまり考えずに飲んでいただけ、これからは正しく使えるようにしていきたい。」</li> </ul>	<p>T1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数名指名して価値づける中で、次のことをおさえる。</li> <li>医薬品は人間にとって有用なものであるが、</li> <li>①きまりを守って使用すること</li> <li>②中学生は自分の判断で使用せず必ずおうちの人に相談すること</li> <li>③薬局には、「薬剤師さん」がいて相談にのってくれること</li> </ul>	<p>↑↑↑</p> <p>★<u>○×クイズについては、学習内容の確認という使い方だけでなく、導入等に使用することも可。</u></p>